

# 松江市立病院だより

## Vol.81

2017年  
秋号

### CONTENTS

病院に吹く新しい風を感じながら	1
がんとともに生きる 一緒に“これから”を考えませんか？	2
通院で化学療法“自分らしく生きるために” がん治療を支える口腔ケア	3
“食べること”は楽しみ がんになっても運動	4
がん市民公開講座	5
〈看護局より〉 浮腫について～続発性リンパ浮腫とは？～ スキンケア外来（ストーマ外来）について	6
〈最近の医療から〉 「小腸内視鏡検査」はじめました	7
地域連携だより	8
〈ヘルスケア・キッチン〉 秋鮭の南蛮漬け	9
新任医師紹介 デジタルサイネージ設置 口腔がん集団検診 がん医療従事者研修会	10
松江市立病院の理念・基本方針	11
診療日程表	12



書画「心」

## 病院に吹く新しい風を感じながら

副診療局長 松井 泰樹



急性期の医療を担う地域の中核病院としての当院には、いくつかの役割があります。

一つめは地域医療支援病院であること。地域の病院や診療所との連携を深めながら、市民の皆さんへ良質な医療を提供しています。

二つめは災害拠点病院であること。今年は、県西部をはじめ九州北部など各地で豪雨災害が起きています。災害は、いつどこで発生してもおかしくなく、もしもの時に備えて、市民の皆さんに役立てるような体制を整えています。

三つめは臨床研修病院であること。これからの医療を担っていく若い研修医を育てていくことは、将来の地域の医療を確保・維持させるためには不可欠なことです。

四つめは地域がん診療連携拠点病院であること。国民の2人に1人ががんにかかる時代です。当院ではがんセンターが3月21日から稼働し、すでに約半年が経ちます。放射線治療部門では、最先端の放射線治療を患者さんに提供しています。一新された外来化学療法室では、プライバシーに十分配慮し、安全で快適な治療を提供しています。緩和ケアセンターは、緩和治療をはじめ、療養や各種の相談ができる場所になりました。がん治療の副作用や合併症を予防・軽減し、患者さんのADL（日常生活能力）を向上し、QOL（生活の質）を高めるために、リンパ浮腫外来やスキンケア外来、口腔ケア外来や食事療法などの栄養管理、ADLルームやフィットネスルームを設置しリハビリテーションの推進などを行っています。

このように、病院ではさまざまに吹く新しい風を感じますが、市民の皆さんも当院のよどみない風を、ぜひ肌で感じてほしいものです。

11月には「がんとともに生きる」をテーマとしてがん市民公開講座を開催します。市民の皆さん方のご参加をお待ちしています。



日本医療機能評価機構  
認定第 GB257 号



病院モットー

愛情 信頼 奉仕

# がんとともに生きる

## 一緒に“これから”を考えませんか？



緩和ケアセンター長  
安部 陸美

2人に1人が「がん」という病気と向き合わなければならない時代になりましたが、数年前までは「がん」と診断されると「死」をイメージした方も多くおられたのではないのでしょうか。しかし、昨今「がん」は「治すことができる」「付き合わなければならない」病（やまい）としてとらえられてきています。

そのような中で、どれだけの方が自分の「これから」を考えているのでしょうか？「病気になったら？」「万が一、病気が進行していたら？」「大切なことは？」「して欲しいことは？」「して欲しくないことは？」を皆さん、いろいろな節目に考えてみませんか？

病気になってこれからどうしたらよいのか？ どの治療を選択したらいいのか？ 治療しない選択肢もあっていいのか？ 家族はどう思っているのか？ などなどさまざまな疑問が生じてくるのは当然のことです。このような疑問や不安を私たち医療者がご本人、ご家族とともに悩み、考え、支援することで、その時の最善を選択することができ、最悪に備えることができるのではないかと考えています。私たち医療者は、患者さんにとって最善の医療を提供するために、また心の負担を最小限にするために意思決定の責任の一端を引き受け、患者さん、ご家族にとって最善の意思決定ができるように支援していきます。このことを「意思決定支援=Advance Care Planning (ACP)」といいます。

そのお手伝いをするのが「緩和ケア」の役割です。がんと診断されたときから緩和ケアを受ける（利用すること）で「自分らしく過ごすこと」が可能になってきます。身体の痛みだけでなく心の痛みも緩和するのが「緩和ケア」です。「緩和ケアというケアがあったから自分の希望する治療を受けることができた。心を支えてもらった」とある患者さんの言葉です。その人をトータルに（全人的に）診ていく、医療の中で最も必要なことではないのでしょうか？ 最善を尽くし、最悪に備えることができるようにさあ、皆さん、私たちと一緒に「これから」を考えていきませんか？



## 通院で化学療法 “自分らしく生きるために”

がんの化学療法をご存知でしょうか。薬剤である抗がん剤を使ってがんを治療する方法で、がんを外科的に切除する手術療法、放射線を照射してがんを治療する放射線療法とあわせてがんの主要な治療方法になっています。

外来化学療法室長  
大谷 裕



抗がん剤による治療といえば、入院して点滴をしながら過ごすもの、吐き気がひどくて食欲もなくなってつらい思いをするもの、といったイメージがありませんか。

しかし現在では、外来で通院しながら化学療法を受けることができるようになりました。これは、抗がん剤の投与方法が改善されたり、高頻度で発生する副作用を抑える支持療法と呼ばれる治療方法が発展してきたからです。

がんに対して有効な抗がん剤の開発が進んで次々と新しい抗がん剤が生まれ、治療成績が目覚ましく向上しています。これを通院で受けることができれば、治療を開始する前とほとんど変わらない日常生活を送れます。それにより、入院生活で感じるような精神的負担がかかりませんし、仕事や家事などを続けながら治療を受けることができます。



外来化学療法室の治療ベッド

例えば、治療を開始した最初の数週間は短時間勤務をして、慣れてきたら少しずつ勤務時間を延ばしていくというやり方で復職した患者さんもいらっしゃいますし、中には抗がん剤の点滴を終えた後、そのまま夜勤の仕事に向かう患者さんもいます。

化学療法は進化しています。いつもと変わらない日常生活を送りながら、外来通院で化学療法を受ける時代を迎えています。

## がん治療を支える口腔ケア

がんの治療や療養中にはさまざまな「くちのなか」（以下、「口腔」といいます。）のトラブルが起こります。

歯科口腔外科科長  
成相 義樹



抗がん剤治療を受けると、口内炎や味覚異常などの症状がでます。放射線治療では、口腔や顎に放射線が当たると強い口内炎や長期にわたる



口腔乾燥、味覚異常を生じます。手術では、口腔の状態が悪いと術後肺炎を起こしやすくなりますし、口腔や喉の手術では傷口が感染するものになります。療養中には口腔乾燥、カンジダ（カビの一種）による口内炎や味覚異常を生じやすくなります。

口腔のトラブルが起きると、痛みのために水分や食事をとれなくなり、心も身体もつらくなります。がんの治療・療養は長期に渡ることもありますので、できるだけ自然な形で口から栄養を取り続けたいものです。口腔のトラブルをできるだけ少なくするためには、がんの治療前に口腔のチェック、歯科治療、そして日常的な口腔ケアが大切です。がんセンター口腔ケア外来では、むし歯の治療や歯石の除去、歯面の清掃、義歯の調整などによる感染源や刺激の除去を主体とした歯科治療、自分で行う口腔ケアのポイントの指導、自己での口腔ケアが困難な方への専門的口腔ケアを行っています。



## “食べること”は楽しみ

がん患者さんにとって「食べること」の意味は、治療を受ける身体づくりと生活の質の維持であり、それは生きる活力、生きる希望につながっています。しかし、治療による副作用や病状の進行により「食べること」が難しくなることがあります。本来、楽しみであるべき食事が苦痛になってしまい、患者さん本人だけでなく料理を作られるご家族にとっても、時に深刻な問題になることも少なくありません。

悪心・嘔吐（おうと）、食欲不振、口内炎、味覚異常などさまざまな症状によって「食べること」がいつものようにできなくなったときは、調理方法や食材選び、盛りつけ方の工夫、食べ方を調整することで苦痛となる症状を最小限に抑えることができます。そうすることで食事量を保つことができ、栄養状態の維持につながることができます。

管理栄養士は、がん患者さんの食事に対する不安や苦痛が少しでも軽減するように、食事に関する相談を受けたり、患者さんの状態に応じた食事対応策を提案したりしています。患者さんにとって、「食べること」＝「楽しみ」であり続けるために、お役に立ちたいと思っています。がんになっても、食べること、食事がいつまでも楽しみであるように、過ごしていきましょう。

栄養管理部技師長  
森山 純子  
(管理栄養士)



※病院食での対応例です。

患者さん「食欲がなく、一度にたくさん食べられない。麺類や果物は食べやすくしたい。」

- ①主食を麺類に変える。
- ②盛りつけ量を少なめにする。
- ③果物を追加する。



## がんになっても運動

がんになったら運動しても良いのでしょうか？ がんのリハビリテーションガイドラインでは、ウォーキングなどの有酸素運動、ストレッチや筋力トレーニングは安全に実施でき、さらに倦怠感の改善や筋力などの身体機能の改善がみられるため、運動を行うように強く勧められています。

リハビリテーション部理学療法士  
井原 伸弥  
(スポーツ理学療法認定理学療法士・健康運動指導士)



しかし、多くの患者さんは手術後の痛みや抗がん剤治療などの副作用によって運動意欲が湧かないのが現実です。身体の活動量が低下し筋肉が減ると、手術後の合併症が増えたり、抗がん剤の副作用が強くなるという研究結果も報告されています。そのため、病態や治療内容に合わせた種類や強さで運動を行わなければなりません。

当院がんセンターではがん患者さんのためにフィットネスルームを設置しました。病院内に設置してあることやマンツーマンで運動指導を行うことで、患者さんの病態や症状にあわせた安全な運動プログラムを提供しています。

がんになっても、今まで通りの生活をできるだけ維持して、自分らしく生活することは可能です。そのために欠かせないのが「運動」です。



平成29年度 松江市立病院 がん市民公開講座

# がんとともに生きる

一緒に“これから”を考えませんか？

日時 平成29年 11月12日(日) 13:30～15:30  
(受付開始13:00)

場所 松江市立病院がんセンター 3階講堂

座長 副診療局長 入江 隆

第1部 基調講演 13:40～14:10

● がんとともに生きる

緩和ケアセンター長 安部 睦美

第2部 松江市立病院の取り組み 14:10～15:30

● 通院で化学療法“自分らしく生きるために”

外来化学療法室長 大谷 裕

● がん治療を支える口腔ケア

歯科口腔外科 科長 成相 義樹

● “食べること”は楽しみ

栄養管理部 技師長 森山 純子

● がんになっても運動

認定理学療法士・健康運動指導士 井原 伸弥

入場参加費  
駐車場  
無料

※駐車券を会場まで  
お持ちください。

どなたでも参加できます。  
松江市立病院の取り組みも紹介します。  
皆さんも一緒に“これから”を考えてみましょう。  
多くの皆さんの参加をお待ちしています。



お問い合わせ：松江市立病院 企画経営課 経営戦略室 TEL.0852-60-8000 (代)



## 浮腫について ～続発性リンパ浮腫とは?～

がん看護専門看護師  
吉本 歩



夕方になると足首に靴下の跡が残ったり、指で押すと皮膚がへこむといった経験はないですか?これは誰にでも起こる一般的な現象ですので心配いりません。

病気による浮腫は、普段と比べて腫れが非常に強く出て、靴が入らないとか下着がきつくなったなどの不都合が生じます。浮腫の原因には心臓、腎臓、ホルモンの異常など身体の中の変化によるものでさまざまです。基本的には原因となることを治療することが浮腫の治療にもなります。

今回お話しする「続発性リンパ浮腫」とは、がんの治療のために手術でリンパ節を取ったり、放射線治療の影響などでリンパ節が機能を失った時に生じる浮腫です。この浮腫の原因となるリンパ節の機能回復は難しく、いったん浮腫が発症すると生涯付き合っていくしかありません。リンパ浮腫外来では、患者さんが上手にリンパ浮腫と付き合うことができるよう、なるべく浮腫を減らし、日常生活に組み込めるようなケアの方法を患者さんと一緒に考えています。

リンパ浮腫の治療は、①ドレナージ②圧迫療法③スキンケア④圧迫しながらの運動の4種類を組み合わせて行います。ドレナージは体に溜まった水分や老廃物を血管に戻し排泄されるように行うマッサージです。圧迫療法は症状に応じた靴下やスリーブと呼ばれる腕にはめる着衣などを使用した治療法です。

当院のリンパ浮腫外来には浮腫治療を行える医療リンパドレナージセラピストが6人おり、曜日ごとに決まった担当者が対応しています。他の病院などで治療をされている方もリンパ浮腫外来を受診できます。ご希望の方はリンパ浮腫外来までお問い合わせください。



治療後



## スキンケア外来 (ストーマ外来)について

皮膚・排泄ケア認定看護師  
南場 徳子



当院では、手術で人工肛門(ストーマ)を付けることになった患者さんのためにスキンケア外来を開設しています。

ストーマを持つ患者さんは、手術前と手術後では排泄経路が変わったり、ストーマの装具交換など日常生活面でいろいろな変化がおこります。入院中は看護師がストーマケアを行い、ケア方法について指導をおこないます。しかし、退院後は患者さんご自身やご家族の方がケアをしなければなりません。慣れないケアに戸惑うことも多くあります。そのような患者さんのためにスキンケア外来があります。

退院された患者さんが、自宅でストーマの装具交換やスキンケアがきちんとできているのかどうか診たり、困った事があれば相談に応じています。夏期などの汗を多くかく時期には、ストーマ周囲の皮膚がかぶれるなどの皮膚障害を起こす事があります。皮膚障害がひどくなると、ストーマ装具が貼れなくなるなどで日常生活が不自由になるケースもあります。そのために、定期的な受診をお勧めしています。

スキンケア外来では、患者さんがストーマを付けることになっても、以前と変わらない日常生活ができるようお手伝いをしています。

## 最近の医療から

### 「小腸内視鏡検査」 はじめました

消化器内科部長  
三浦 将彦



(日本消化器内視鏡学会専門医)

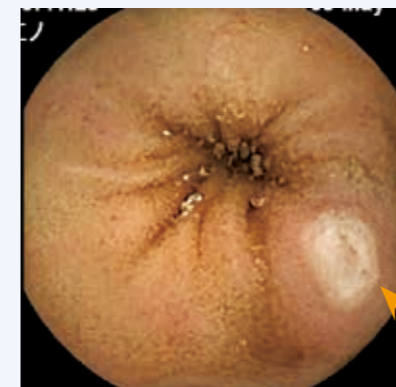
突然ですが、この原稿を書いている7月14日は、その語呂から「内視鏡(ないしきょう)の日」とされています。内視鏡検査の発展・普及を願い制定されたもので、日本記念日協会により認定されています。特に胃がんや大腸がんの早期発見には、内視鏡検査が非常に重要です。ぜひ定期的ながん検診を受けましょう。

今年度、当院では内視鏡診療により一層力を入れるため、内視鏡検査機器を大幅にリニューアルしました。最新の検査機器を導入したことで、内視鏡の画質も従来のものよりも明るく鮮明となり、小さな病変も見つけやすくなりました。また、経鼻(鼻から入れる細い)内視鏡も充実しましたので、苦痛の少ない検査方法として好評を博しています。なかでも注目すべき点として、「小腸内視鏡(カプセル内視鏡及びシングルバルーン内視鏡)」を導入しましたので、ここで紹介します。

小腸は食べた物の栄養素を吸収する消化管で、真っ直ぐに伸ばすと6m以上の長さになります。胃や大腸の内視鏡検査については、皆さんもなじみが深いと思いますが、その間にある小腸は口からも肛門からも遠く奥まったところにあり、内視鏡を入れることが困難でした。そのため、長い間その中を見ることができないため「暗黒の臓器」と呼ばれていました。こうした中、最先端のテクノロジーを結集し開発・製品化されたのが、超小型の「カプセル内視鏡」です。



写真1 カプセル内視鏡



小腸にできた潰瘍

写真2 撮影した写真



(オリンパスホームページより)  
写真3 シングルバルーン内視鏡

カプセル内視鏡は、わずか直径11mm×長さ26mmの大きさのカプセル(写真1)を飲み込むだけで、後は消化管の自然な流れによって小腸の中を漂い進みながら自動撮影してくれます。もちろん苦痛はまったくありません。通常は、朝にカプセルを服用すると、夕方までには長い小腸を全て通過し、検査が終了します。ボディは小さくとも撮影性能は高く、小腸粘膜の小さな傷(写真2)であってもきれいに写し出します。このようにして、今までわからなかった出血や腹痛の原因が、小腸に見つかることもあります。

そしてシングルバルーン内視鏡は、風船(バルーン)の付いた特殊な内視鏡(写真3)です。この内視鏡は、消化管の中を尺取り虫のように進んでいき、小腸の奥深くまで入るようになりました。これで小腸の病変に対して、内視鏡を使って治療(止血処置やポリープ切除など)ができるようになりました。

現在、当院では口から肛門まで全ての消化管で内視鏡検査・治療を実施しています。原因のはっきりしない貧血、なかなか治らない腹痛や下痢などでお悩みの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。



## 地域連携 だより

松江市立病院では、周辺医療機関と連携を図りながら、医療の充実に努めています。

### がん相談 支援センター

がん相談支援センターでは、専門の相談員ががんに関する情報を提供し、がんの治療や療養生活全般のさまざまな相談に対応しています。患者さんやご家族の方だけでなく、地域の皆さんにもご利用いただけます。

相談の内容としては、介護や在宅医療、緩和ケアといった療養生活に関連した内容が多く、続いて医療費のことや福祉制度の利用相談などです。相談される方々の必要に応じた情報や解決の糸口を提供しています。病院内だけでなく外部も含め、多くの職種（医師、看護師、薬剤師、栄養士、ケアマネジャー、訪問看護師、社会福祉士など）間で十分な連携を図って対応しています。不安や悩みを一人で抱え込まず、お気軽にご相談ください。

### がん キャンペーン 活動

9月は「がん征圧月間」、10月は「乳がん撲滅月間（ピンクリボンキャンペーン）」と「ホスピス緩和ケア週間」にあたり、2ヶ月にわたるがんに関するキャンペーン活動に取り組んでいます。キャンペーン期間中は、本館1階中央待合ホールで、がん疾患やがん予防・検診、緩和ケアのことや3月にオープンしたがんセンターについてのパネルを展示しています。

また、次のようにカフェサロンを開催します。患者さんやご家族の方、その他多くの方々と、病院の医師、看護師、その他の医療スタッフやハートフルサロン松江の皆さんとの交流の場にしたいと考えています。カフェ形式で自由に参加できますので、お気軽にご参加ください。

### 9月のカフェサロン 【がん征圧月間】

9月19日(火) 13:00~15:00  
本館1階中央待合ホール  
皆さんの参加をお待ちしています



### 10月のカフェサロン 【ピンクリボンキャンペーン】

10月17日(火) 13:00~15:00  
本館1階中央待合ホール  
皆さんの参加をお待ちしています



### ハートフル サロン松江

7月11日にハートフルサロン松江創立11周年誕生会を、がんセンター2階のがんサロンで開催いたしました。いつも参加していただいている患者さんやご家族の方、病院長をはじめ病院スタッフの皆さんなど30人ほど集まり、時間の経つのも忘れた楽しいお喋りの時間でした。

昨年までは、本館会議室で毎週火曜日に開いていましたが、がんセンター開設を機に専用の部屋を用意してもらい、何時でも気軽に利用できるようになりました。毎週火曜日の交流会と共にもっと幅広く有効活用を図りたいと願っています。この11年間来てくださった患者さんと病院スタッフの皆さんにあらためてお礼申し上げます。

(ハートフルサロン松江 世話人)



## ヘルスケア・キッチン

～旬を逃さず、魚を上手に取りましょう～

### 秋鮭の南蛮漬け

今回は私が紹介します♪

栄養管理部  
管理栄養士 古澤 妙子



#### 材料(2人分)

サケ(切身) …2切れ、タマネギ…中1/4個、ニンジン…中1/6本、ピーマン…中1/4個、日本酒…少々  
黒こしょう…好みで少々、小麦粉…大さじ1/2杯、油…少々  
南蛮漬けのたれ 酢…大さじ3杯、砂糖…大さじ1/2杯、しょうゆ…小さじ2杯、輪切りトウガラシ…少々

#### 作り方

- 1 サケは日本酒を少々ふりかけておく。
- 2 タマネギは薄切り、ニンジン、ピーマンは千切りにして電子レンジで1～2分加熱する。
- 3 南蛮漬けのたれは調味料を合わせ、電子レンジで30秒加熱する。
- 4 電子レンジで加熱したたれを野菜にかけて、漬け込む。
- 5 サケは水分を軽く拭きとり、黒こしょうをかける(塩を使わないので多めの方がおいしい)。ビニール袋に入れて、小麦粉を入れてまぶす。
- 6 フライパンで油を熱し、途中で水を少々入れながら、サケを焦げないように蒸し焼きにする。
- 7 蒸し焼きにしたサケを、漬け込んでいる野菜に入れて、一緒に漬け込む。



エネルギー(1人分)  
210kcal

塩分(1人分)  
1.1g

### 一口 メモ DHA・EPA

さまざまなメディアでもおなじみのDHA(ドコサヘキサエン酸)・EPA(エイコサペンタエン酸)、皆さん毎日の食事に取り入れていますか？ DHA・EPAは主に魚(特に青魚)の脂肪に含まれています。また、植物油などに含まれるα-リノレン酸から体内で合成されます。

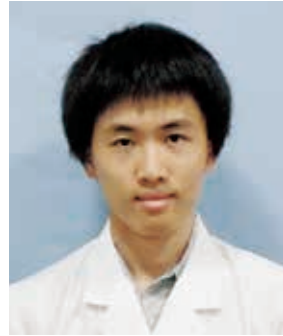
特にLDL(悪玉)コレステロールや中性脂肪を減らし、血管壁への付着を抑えて血液をサラサラに保つ働きがあります。また、脳や神経の発育、眼の機能回復にも効果があるとされていますし、制がん作用も期待されています。サプリメントで摂取するという方もいらっしゃいますが、食事からも上手に取り入れたいですね。

#### ★調理のポイント★

DHA・EPAは酸化(油分が劣化)しやすいので、鮮度の高いものを選ぶようにしましょう。また、揚げ物や網焼きで脂肪を落とすよりも、生食したり煮る、蒸す、フライパンで焼いたりするなどの調理法のほうが、より効率的に摂取できます。缶詰なども利用すれば、より手軽に食べることができます。



## 新任医師紹介



産婦人科

長田 広樹  
ながた ひろき

人生2回目の松江生活です。  
安心をお届けできるようがんばりますので、  
よろしくお願いいたします。



## お知らせ

### デジタルサイネージ（電子看板）設置

本館正面玄関とホスピタルモールに、デジタルサイネージを設置しました。明るく見やすい画面で、患者さんや来院される皆さんへお伝えしたいことや注意事項を表示します。



## 口腔がん検診を受けてみませんか

なかなか治らない口内炎、それはお口のがんかもしれません。  
ご存知ですか？ お口の中にも「がん」ができることを。  
「口腔がん」は早期発見できれば、90%以上が治る病気です。

### 口腔がん集団検診

日時：平成29年11月25日（土） 13:00～16:00（最終受付 15:00）  
場所：松江市立病院 1階外来ホール（北ブロック）

検診では首、顎の関節の触診、口腔内の診査を行います。必要な方には細胞診を行います。  
事前申し込みは不要です。当日、会場にお越しください。検診料は無料です。

## がん医療従事者 研修会

日時：平成29年10月26日（木） 19:00～20:00  
場所：松江市立病院 がんセンター講堂  
演題：高齢者のがん  
講師：福井大学医学部産科婦人科学教授 吉田 好雄 氏

表紙写真 書画「心」 がんセンター開設時に岸本泰子様から寄贈された書画です。がんセンター内にて展示しています。

## 松江市立病院 理念

松江市立病院は、市民への奉仕を第一とし、市民から愛され、信頼される病院を目指します。地域中核病院として、また自治体病院として市民ニーズに的確に応える医療を行うとともに、保健医療福祉の連携に努めます。

## 松江市立病院 基本方針

- 1 私たちは、患者さんへの思いやりを第一とし、市民から愛され、信頼される病院にします。
- 2 私たちは、医療水準を高め、全力を尽くして患者さんの診療にあたります。
- 3 私たちは、患者さんの権利を尊重し、信頼に基づく安全で良質な医療を提供します。
- 4 私たちは、診療所や他の病院と連携を密にし、地域医療の充実に努めます。
- 5 私たちは、健全経営に努め、明るく働きがいのある病院を創ります。

## 精神科 基本方針

患者の尊厳と自己決定の権利を尊重し、その権利を擁護します。

- 1 精神科救急医療への貢献をします。
- 2 精神障害者の身体合併症患者の受入を行います。
- 3 地域資源との連携を行い、地域生活移行を支援します。

## 緩和ケア 理念

悪性疾患を含め、すべての疾患において苦痛の緩和を必要とする患者、およびその家族の想いを可能な限り尊重する。さらに患者およびその家族の生活や希望を支え、その人らしく生きていくことができるよう最大限の支援を行う。

## 緩和ケア 基本方針

- 1 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
- 2 患者がその人らしく生きることができるよう支えます。
- 3 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
- 4 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
- 5 患者の希望に添い、在宅への支援を行います。
- 6 患者の療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。

## 患者の権利宣言

松江市立病院は、患者さんの権利を尊重し、信頼にもとづく良質な医療を行うため、患者さんの権利と責務に関する宣言をここに掲げます。

### 1. 良質な医療を受ける権利

患者さんは、安全かつ適切で良質な医療を公平に受ける権利があります。

### 2. 説明や情報を得る権利

患者さんは、病状や治療法等について十分な説明と情報を得る権利があります。

### 3. 選択の自由と自己決定の権利

患者さんは、治療法を自らの意思で選択、決定する権利があります。

### 4. 個人情報の秘密保持の権利

患者さんは、診療の過程で得られた自己の個人情報の秘密が守られ、患者さんの承諾なしには開示されない権利があります。

### 5. 尊厳を得る権利

患者さんは、個人としての人格、価値観などを尊重され、医療従事者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

### 6. 患者さんの責務

- (1) 医療従事者に対し、自分の健康に関する情報を提供する責務があります。
- (2) 他の患者さんの診療に支障を与えないよう配慮する責務があります。
- (3) 医療従事者の指示を守り、治療効果をあげる努力をする責務があります。



# 診療日程表

平成29年9月

診療科			月	火	水	木	金
総合診療科			曾田	芦田	曾田	山田	曾田
糖尿病・内分泌内科			多田	佐々木	佐々木(初診) 多田(再診)	多田	佐々木
消化器内科			河野・加藤・堀江	谷村・三浦・吉村	堀江・加藤・村脇	吉村・村脇・三浦	竹田・谷村・河野・兼村
循環器内科	初診	岡田	三浦	大嶋	太田	山口	
	再診	—	太田・大嶋	岡田	山口・三浦	—	
呼吸器内科			小西	龍河	小西	小西	龍河
神経内科			高井・鞆嶋・本田	高井	鞆嶋・本田	高井	鞆嶋・本田
小児科			辻・掛江	米田・掛江	辻・田中	辻・米田	米田・掛江
放射線科			堀・飴谷	謝花・木村	堀・飴谷	謝花・木村	飴谷
精神神経科			奥田・小野	大竹・西口	奥田・今岡	大竹・小野	大竹・大学医師
皮膚科			松木 吉田(再診)	吉田 松木(予約のみ)	松木 吉田(再診)	松木	吉田 松木(再診)
消化器外科	初診	山田	河野	梶谷	倉吉	大谷	
	再診	菅澤・倉吉	大谷	若月・山田・大谷	河野	梶谷	
乳腺・内分泌・血管・胸部外科			内田	松井	野津	松井	野津 内田(乳腺・内分泌)
心臓血管外科			—	—	—	—	清水 14:00~16:00
脳神経外科			医師交替 (初診)	阿武	医師交替 ~9:00(初診)	辻 瀧川(再診)	瀧川 阿武(再診)
整形外科			医師交替(初診) 村上(再診)	近藤(初診) 梅木(再診)	石田(初診) 近藤(再診)	村上(初診) 石田(再診)	梅木(初診)
形成外科			松井	松井	松井	松井 ~9:00(初診)	松井(再診) 坂井(紹介のみ)
産婦人科	初診	入江	田代	佐藤	高橋	紀川	
	再診	高橋	入江	長田	佐藤	田代	
	妊婦健診	佐藤	高橋	田代	長田	入江	
泌尿器科			角	瀬島	山口	角	山口・瀬島
耳鼻いんこう科			榎本・小谷	榎本・小谷	榎本・小谷	榎本・小谷	榎本・小谷
眼科			板持・堅野	板持・堅野	堅野(再診)	板持・堅野	堅野
麻酔科 緩和ケア・ ペインクリニック科	緩和ケア	岩下	安部・中右	岩下	安部・中右	医師交替	
	ペイン	—	安部(午前) 小糠	—	—	岩下・中右	
リハビリテーション科			徳田・福永	徳田	福永	徳田	徳田・福永
歯科口腔外科	午前	初診	高村	石倉	石倉	成相	小田原
		再診	成相・石倉・小田原	成相・大熊・小田原	小田原・成相・高村	石倉・高村・小田原	石倉・成相・高村
	午後	再診	小田原・大熊・石倉	小田原・大熊・石倉	成相・大熊・小田原	成相・石倉・高村	成相・小田原・高村

※都合により診療医師は変更する場合があります。



松江市立病院  
MATSUE CITY HOSPITAL

●発行者／松江市立病院長 紀川純三 ●編集／広報委員会

<http://www.matsue-cityhospital.jp/>

〒690-8509 松江市乃白町32番地1 TEL(0852) 60-8000(代) FAX(0852) 60-8005